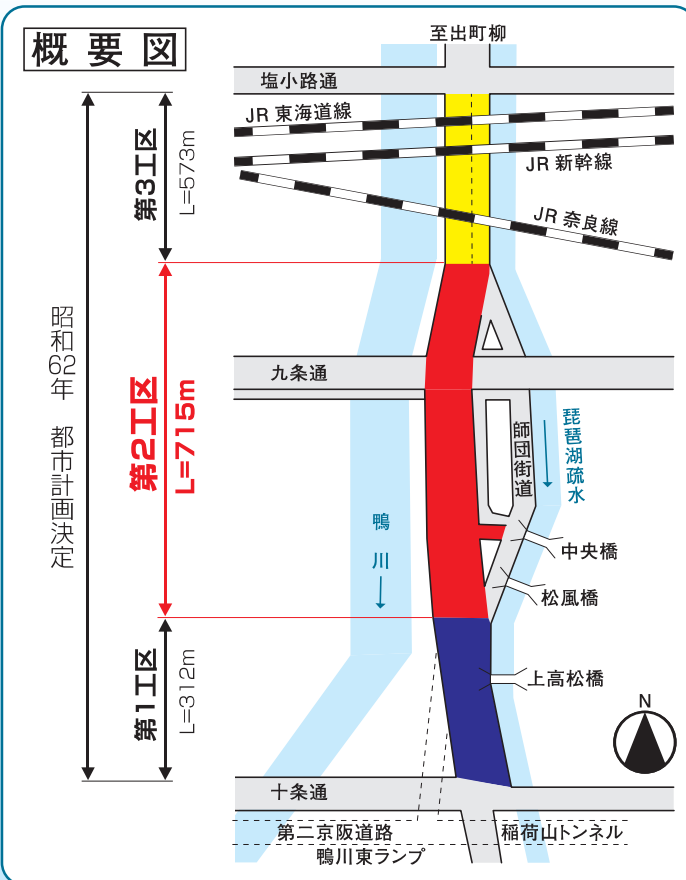


鴨川東岸線について



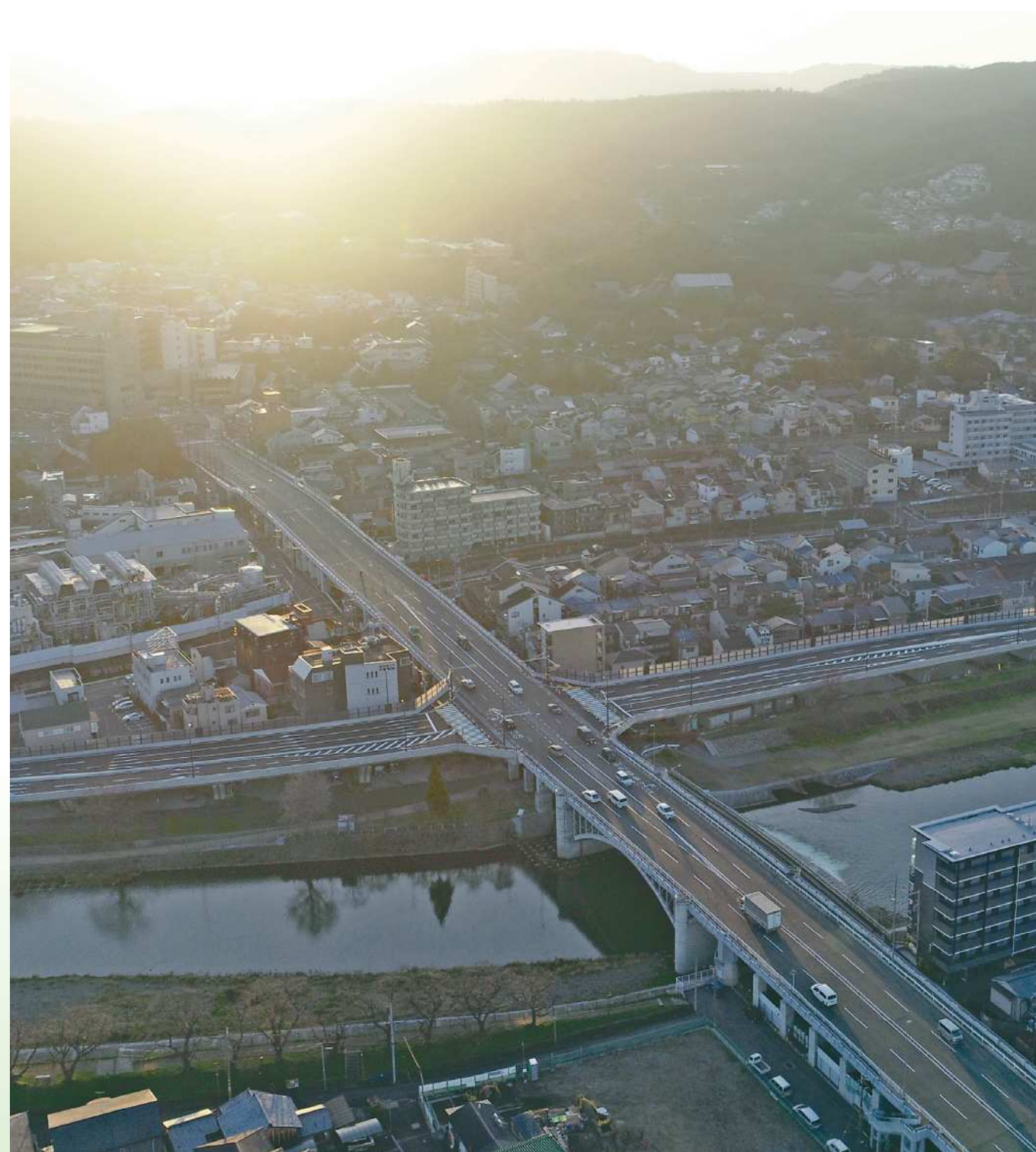
鴨川東岸線とは

鴨川東岸線は、出町柳から十条通までの鴨川の東側を南北に結ぶ幹線道路です。出町柳から塩小路通までの区間（通称：川端通）は、連続立体交差化事業に伴う京阪電車の地下化によって、軌道跡に整備され、平成2年度に完成しました。

残る塩小路通から十条通までの区間（通称：師団街道）は、現在、南から第1工区、第2工区、第3工区に分けて整備を進めており、平成21年度には第1工区が完成しています。

今回、第2工区が完成することにより、師団街道と九条通が直接アクセスできるようになります。

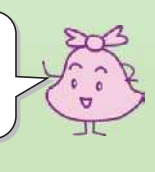
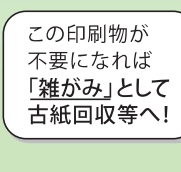
今後は、第3工区の整備を行うことで、鴨川東岸線全線を完成させ、市内幹線道路の南北軸の強化と交通の円滑化を図ります。



京都市 建設局 道路建設部 道路建設課

京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地
TEL 075-222-3577 / FAX 075-213-0559

令和2年3月発行 京都市印刷物第313266号



鴨川東岸線(第2工区)整備事業



市長あいさつ



京都市長
門川 大作

鴨川の流れに沿うように走る「鴨川東岸線」。京都市域を南北に縦断する幹線として重要な役割を担う道路です。

この度、そんな鴨川東岸線の第2工区が、ついに開通の日を迎えました。これにより、市内中心部から、第二京阪道路（鴨川東 IC）及び無料化された稲荷山トンネルへのアクセスが向上し、周辺都市とのネットワークも強化することができました。

これもひとえに、地元の皆様、関係者の皆様の御理解と御協力の賜物です。厚く御礼申し上げます。

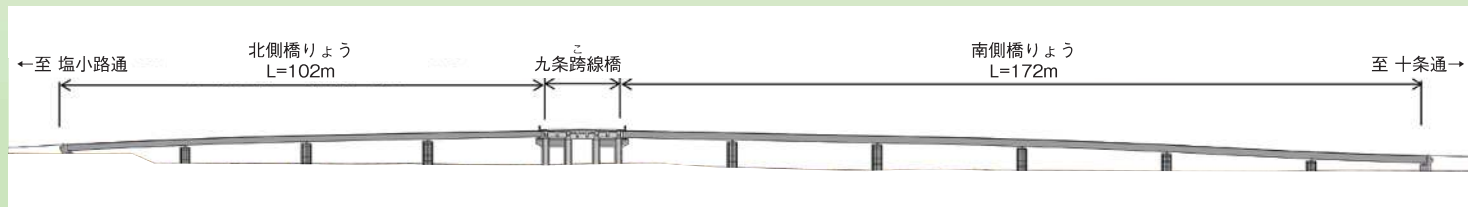
本市では、あらゆる危機をしなやかに乗り越える「レジリエント・シティ」の実現に向け、都市基盤の充実を進めています。本道路も、渋滞の緩和や災害時の緊急輸送の円滑化にも大きく寄与するものと確信しております。

今後とも、市民の皆様のいのちと暮らしを支える、安全・安心で持続可能なまちづくりを進めてまいります。引き続き、皆様のお力添えをお願い申し上げます。

事業内容

事業名	鴨川東岸線（第2工区）整備事業
事業箇所	東山区福稲柿本町～福稲岸ノ上町
事業期間	平成9年度～令和2年度
事業費	約96億円
延長・幅員	L=715m（うち橋りょう区間 L=274m） W=21.0～30.6m

橋りょう縦断図



整備内容

① 師団街道と九条通のアクセス向上

鴨川や鉄道、琵琶湖疏水などを跨ぐ九条跨線橋に新たな橋りょうを直結しました。

市域を南北に走る師団街道と、河原町通や堀川通へも繋がる九条通が直接アクセスできるようになり、交通が円滑になります。



② 師団街道の渋滞緩和



鴨川東岸線（第1～第3工区）整備事業では、現在の師団街道を拡幅し、慢性的に発生している交通渋滞を緩和することを目的としています。

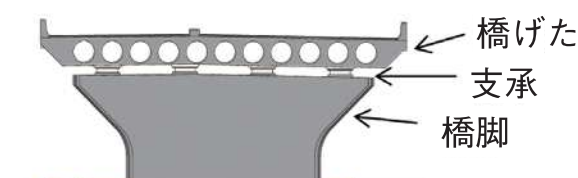
鴨川東岸線（第2工区）においては、現在の師団街道のバイパス道路を整備することにより、通過交通を鴨川東岸線に振り替えます。鴨川東岸線（第2工区）が開通することにより、現在の師団街道は交通量が減少し、生活道路として機能します。

なお、市バスはこれまでどおり、現在の師団街道を通ります（一部バス停位置を変更します。）。

③ 景観に配慮した橋りょう

鴨川東岸線の橋りょうの設計に当たり、鴨川の良い景観の形成に配慮するため、圧迫感の少ないデザインの橋りょうとし、鴨川の景観との調和を図りました。

今回採用した『PC ホロースラブ橋』は、橋げたの中に大きな円筒を入れることにより、軽くて薄いながらも丈夫な橋げたを作ることができる橋りょう形式です。



第3工区の整備

今後は、第3工区を整備し、鴨川東岸線の4車線化を図り、市内幹線道路の南北軸の強化と交通の円滑化を図ります。

